

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

福島快適住宅

グループの名称

福島快適住宅を考える会

直近採択グループ番号

06-0145-0157

(グループ代表者)

代表者名

佐藤 信聡

代表者印

代表者所属先

株式会社りのいえ

代表者所在地

福島県福島市堀河町4-15

代表者電話番号

024-529-7557

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社ブルケン東日本 福島営業所

事務局担当者名

高野 喜治

印

事務局郵便番号

960-0101

事務局所在地

福島県福島市瀬上町字西中川原67-2

事務局電話番号

024-553-7551

事務局FAX

024-553-2161

事務局担当者E-mail

cad.hira@poppy.ocn.ne.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	福島快適住宅
2. グループの名称(必須)	福島快適住宅を考える会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0145-0157
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	福島県・宮城県
5. 結成年(必須)	2017 年
6. グループ代表者名(必須)	佐藤 信聡
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社りのいえ
8. グループ代表者所在地(必須)	福島県福島市堀河町4-15
9. グループ代表者電話番号(必須)	024-529-7557
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社ブルケン東日本 福島営業所
11. グループ事務局担当者名(必須)	高野 喜治
12. グループ事務局郵便番号(必須)	960-0101
13. グループ事務局所在地(必須)	福島県福島市瀬上町字西中川原67-2
14. グループ事務局電話番号(必須)	024-553-7551
15. グループ事務局FAX番号(必須)	024-553-2161
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	cad.hira@poppy.ocn.ne.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	3	海外事業者は念書が入手不可能な為登録を行っていない。仕入業者による合法性の証明する
II. 製材・集成材製造・合板製造	5	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	5	
IV. プレカット	2	
V. 設計	1	
VI. 施工	15	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
	<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する	国産材	/	3	国内	
	<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外	
	<input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内	
	<input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外	
	<input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内	
	<input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内	
	<input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する	外材		2	国外	
	<input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内	
	<input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内	
	<input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外	
	福島県産材	福島県		福島県産材認証制度	1	国内

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		8	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	8	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		15	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		2	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		1	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟					
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	確定している業者には最優先で配分し、他は未経験業者に優先的に配分する。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	9	戸	交付申請戸数	6	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	2	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) <b>福島快適住宅</b>	(地域型住宅供給対象地域) <b>福島県・宮城県</b>
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) <b>福島快適住宅を考える会</b>	(結成年) <b>2017 年</b>
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	<b>06-0145-0157</b>	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	耐震性を重視する サッシの高断熱化・高气密化を目指す	断熱・◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	地盤調査を行い、適宜地盤改良を行う	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	風の取り込みや、日射の取り入れ・遮蔽を考えた間取り設計をする	○
④①～③の背景	震災を経験しており、耐震の重要性和寒暖差が厳しい地域で有る為	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 土台・柱は3.5寸角以上とする	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 一般に流通している建材を使用する	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 一般に流通している建材を使用する	◎
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ内の建材流通業者へ発注をまとめる	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ内の施工業者から上がった注文をまとめて、ホリウムで価格交渉を行いコストを下げる	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局がグループ業者の意見、要望を摺合せ、場合によって委員会の設置をする	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 国の政策・制度等の勉強会を、定期的に行う	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 定期邸に施工技術者講習を行っていく	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 地盤調査報告書・出荷証明書による信頼性向上に努める	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 見積り項目・数量を明確化にして出す	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 現場見学会等を実施する	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 現場状況によるが、導入を検討して行く	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ全体として、技能や経験にふさわしい処遇を実現出来る様にして行く	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 社会保険加入に向けた環境を整備する	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 社員の健康第一 と考え、職場環境を整備して行く	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 福島快適住宅	(地域型住宅供給対象地域) 福島県・宮城県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 福島快適住宅を考える会	(結成年) 2017 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0145-0157		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 国交省登録機関を利用し管理する	◎
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <住宅履歴の図書館>を推奨する	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局への報告を義務付ける	○
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理計画書を作成する	○
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 大規模な自然災害が発生した際には、応急点検・補修を行う	○
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 受領書に施主からサイン・押印を貰い、事務局への提出を指導する	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 実施出来る様に検討する	○
		③-2 DIY体験会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 実施出来る様に検討する	○
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場見学会時に、相談会を行う	◎
	④ 維持管理委員会等の設置 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 共通の維持管理計画書を作成し、事務教局が中心となり勉強会等を実施する	○	
	⑤ その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保証以外に、保険会社が提供する延長保証サービスを提案する	○	
	b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が率先して、グループ内の他の業者が引き継ぐ支援をする	◎
		② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 外部サポートセンターによる勉強会を実施する様にする	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
	エ. グループの技術力の向上		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メーカー等と協力し、技術研修会を行う	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○	
	③-1 需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メーカー等と協力し、技術研修会を行う	◎	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○	
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 8 今年度の参加目標人数 10	
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 8 今年度の参加目標人数 10			
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未受講の業者へ事務局赤ら、開催日時を案内し受講して貰う		◎	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 外部のセミナーや、メーカーの勉強会を案内し参加を促す	◎	
	② 新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 福島快適住宅	(地域型住宅供給対象地域) 福島県・宮城県												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 福島快適住宅を考える会	(結成年) 2017年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0145-0157													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	地域材利用に関する													
①	共通 ルール(必須)	土台・構造材には、合法木材証明制度(国内・国外)及び、福島県産材(県産木材証明制度)を使用する												
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	■ 50%未満      □ 50%以上      □ 80%以上												
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: □ 使用していない    ■ 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: □ 使用していない    ■ 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: □ 使用していない    ■ 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない    □ 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: ■ 使用していない    □ 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: ■ 使用していない    □ 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: □ 使用していない    ■ 使用している		柱: □ 使用していない    ■ 使用している		梁・桁等の横架材等: □ 使用していない    ■ 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない    □ 使用している	造作材	枠材、廻縁等: ■ 使用していない    □ 使用している	板材	壁板、床板等: ■ 使用していない    □ 使用している
主要構造材	土台: □ 使用していない    ■ 使用している													
	柱: □ 使用していない    ■ 使用している													
	梁・桁等の横架材等: □ 使用していない    ■ 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない    □ 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: ■ 使用していない    □ 使用している													
板材	壁板、床板等: ■ 使用していない    □ 使用している													
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に關 する補足説明	○原木供給業者 → 製材・集成材・合板製造業者 → プレカット業者 → 建材・木材流通業者 → 施工業者 ← 設計業者 ○製材・集成材・合板製造業者 → プレカット業者 → 建材・木材流通業者 → 施工業者 ← 設計業者 ○原木供給業者 → 製材・集成材・合板製造業者 → 建材・木材流通業者 → 施工業者 ← 設計業者												
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない    ■ ある → 内容: 建材・木材流通業者が、調査・把握して行く												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない    ■ ある → 内容: 建材・木材流通業者が、調査・把握して行く												
	② グループ全体における地 域材の需給予測	■ 行っていない    □ 行っている → 内容:												
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない    □ 行っている → 内容: 施主の要望による												
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない    □ 行っている → 内容: 施主の要望による												
	①-3 襖の活用	■ 行っていない    □ 行っている → 内容: 施主の要望による												
	①-4 障子の活用	■ 行っていない    □ 行っている → 内容: 施主の要望による												
	②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用	■ 行っていない    □ 行っている → 内容: 施主の要望による												
	②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用	■ 行っていない    □ 行っている → 内容: 施主の要望による												
d	① 地域の伝統的なデザ インを継承する取組	■ 行っていない    □ 行っている → 内容: 風の取り込みや、日射の遮蔽等を計画する												
	② 地域の住まい方の継承に つながる取組	■ 行っていない    □ 行っている → 内容: 震災を経験しているため、地盤調査・改良を行う												
	③ 地域の街並み形成へ寄 与する取組	■ 行っていない    □ 行っている → 内容: 地域の景観計画に基づき景観計画を行う												
	④ 和の住まいの要素を取 入れた取組	■ 行っていない    □ 行っている → 内容: 施主の要望による												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。	地域産業の活性化・経書の為、若手大工・事業継承者に対する研修会を行う												
カ. その他														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
東日本大震災の復興に資する取組	福島県産材を積極的に使用する	◎												
平成28年熊本地震の復興に資する取組														

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 福島快適住宅	(地域型住宅供給対象地域) 福島県・宮城県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 福島快適住宅を考える会	(結成年) 2017 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0145-0157	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>◎認定低炭素住宅</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H28年省エネ基準(断熱等性能等級4)をクリアした上で、冬季の日射取得と夏季の遮蔽を考慮した軒の出や庇、通風を考慮して設計する</li> <li>・採用設備について、エネルギー消費効率の高い暖房設備や節水性の高い仕様を採用し、一次エネルギー消費量をH25年省エネ基準より10%削減する</li> </ul> <p>◎ゼロエネルギー住宅</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H28年省エネ基準(断熱等性能等級4)をクリアした上で、冬季の日射取得と下記の遮蔽を考慮した軒の出や庇、通風を考慮して設計する</li> <li>・BELS認証の取得を必須とする</li> </ul>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。